

Kenren No.75 kanon

神奈川県
合唱連盟
機関情報誌

2011 年秋号

発行:2011.10.10

◆第 54 回神奈川県合唱祭開催される◆

平成 23 年 6 月 11 日、12 日、25 日、26 日の 4 日間にわたり、県合唱祭が開催されました。

県連加盟の 180 団体・4,333 名が参加し、神奈川県立音楽堂は歌声であふれました。

この合唱祭の特徴は各日ごとに用意された多彩な企画コーナーにあります。ここではそれぞれの企画コーナーについてご報告させていただきます。

6 月 11 日（土）

初日の企画コーナーはコスチュームファッションショーです。ユニチカトレーディング㈱にご協力いただき、合唱団員が自らモデルとなってコスチュームを紹介します。色とりどりのコスチュームを身にまとったモデルさんたちがステージを飾ります。

このステージでは、憧れのファッションモデルに

なれる！とあって、出演者からも人気のコーナーです。今年のファッションショーでは、デザインばかりではなく、しわになりにくい素材やコーディネートの靴も紹介されました。

6 月 12 日（日）

2 日目の企画コーナーはジュニア合唱団による合同合唱です。県下のジュニア合唱団が集まって元気な歌声を聞かせてくれました。例年は春先に開催されるジュニア合唱祭と県合唱祭の 2 回、合同合唱を披露する機会があるのですが、今年は東日本大震災の影響で 4 月 2 日に開催予定であったジュニア合唱祭が中止になってしまいました。この日は、ジュニア合唱祭の時に歌う予定であった新実徳英作曲の「二十歳」「壁きえた」などが演奏され、すばらしい歌声が音楽堂に響き渡りました。



出演団体による演奏の様子



6月25日(土)

3日目の企画コーナーは作曲家コーナーと中学生・高校生による合同合唱です。

まずは、講師にお迎えした大田桜子先生の作曲家コーナーです。コールしのはらとコールシュテルネの2団体が大田先生の作品を演奏しました。作曲者ご本人の前で歌うのは、とても緊張されたと思いますが、ステージ上で大田先生ご自身から直接講評やアドバイスがいただけ、参加団体には満足していただけようでした。

また、中学生・高校生による合同合唱では平井保先生の指揮で連盟歌「朝の光に」と木下牧子作曲の「鷗」が演奏されました。普段はそれぞれの学校で練習していて一緒に歌う機会はないのですが、この日はまるでいつも一緒に練習している一つの合唱団のようなすばらしい響きを聴かせてくれました。

こんなにすばらしい中学生や高校生がいるのだから、合唱界の将来は明るい！と感じさせてくれました。



中学生・高校生による合同合唱

6月26日(日)

最終日の企画コーナーは、松浦ゆかり先生による公開レッスンです。



松浦先生による公開レッスン

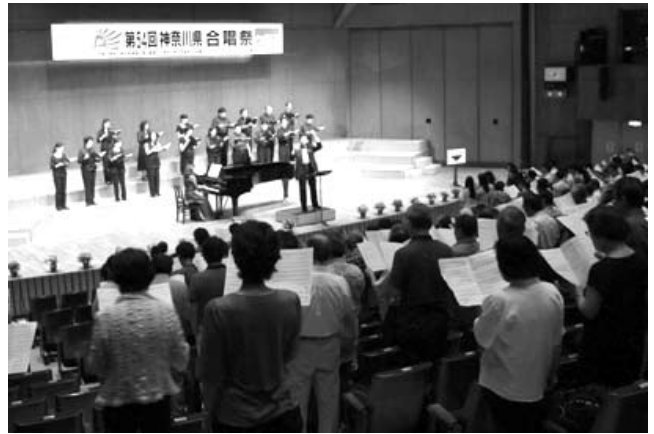
今回はコール・リリカがモデル合唱団となり、鈴木憲夫作曲「みすゞこのみち」についてレッスンを受けました。ご指導いただく前にすでに仕上がっているのでは？と思われた演奏も、松浦先生の分かりやすく楽しいご指導を受けるうちに、曲に込める気持ちや歌い手の表情まで違ってきたように感じました。客席も先生の指導に引き込まれ、まるで自分たちが指導を受けているような不思議な感覚に包まれました。

上記の企画コーナーのほかに、合唱祭では各日ともブロックごとに信長貴富先生作曲の連盟歌「朝の光に」を全員で歌うのがすっかり定着しました。この曲は神奈川県連創立50周年を記念して委嘱した作品で、みんなが歌える愛唱歌ともいえる存在です。これからも長く歌い継いでいきたいです。また来年もみんなで歌いましょう！



また各日の終わりには、会場を彩るために、協賛のコカ・コーラ セントラルジャパンにご提供いただいたアジサイの鉢植えを懸けた大ジャンケン大会で大いに盛り上がりました。

最後になりましたが、今年は持ち時間をオーバーする団体が一体もなく、用意したイエローカードの出番はありませんでした。おかげさまで4日間ともほぼタイムテーブルどおりに進行することができました。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。



「朝の光に」の全体合唱



じゃんけん大会！鉢植えは誰の手に…



4日間の日程が終わりホッとする実行委員のみなさん

第35回 神奈川県合唱フェスティバル 小学校合唱フェスティバル 参加校募集のお知らせ

- 開催日時: 2012年2月11日(土・祝)14:00開演(予定)
- 会場: 神奈川県立音楽堂
- 主催: 神奈川県合唱連盟 / 共催: 神奈川県・神奈川県立音楽堂 / 後援: 朝日新聞横浜総局
- テーマ: 内容: 「小学校合唱フェスティバル ～響け☆希望の歌声～」
県内の小学校による合唱の演奏会
- 募集団体: 神奈川県内の公立・私立小学校 15団体程度
※一つの小学校の児童による社会教育団体の合唱団も可とします。
- 演奏時間: 1団体あたり7分程度
- 参加費: 無料(ただし、会場までの交通費などをご負担ください。)
- 申込方法: 出演希望の小学校は、申込用紙を神奈川県合唱連盟事務所で **Fax** で提出してください。
提出期限 10月20日(木)
- その他: ・各学校の演奏には、講師の先生による講評をいただく予定です。
・合同合唱や交流タイムなどの企画を検討しています。
・参加希望校数によっては、開演時間、演奏時間等を変更させていただく場合もありますので、ご了承ください。
- お問合せ先: 神奈川県合唱連盟 事務所(月～金 12:00～16:00)
〒231-0021 横浜市中区日本大通 15 横浜朝日会館 4F
TEL 045-681-6033 FAX 045-662-5119
E-mail kanagawakenren@nifty.com
ホームページ URL <http://kanagawakenren.la.coocan.jp/>



第54回神奈川県合唱コンクール開催

神奈川県合唱コンクール実行委員会
実行委員長 鈴木 行

平成23年8月24日（水）、同9月4日（日）の2日間にわたり、神奈川県立音楽堂において第54回神奈川県合唱コンクールが開催されました。8月24日はゲリラ豪雨、9月4日は台風12号の接近と両日共に天候が心配でしたが、大過なく開催出来て安堵している次第です。台風12号に関しては、四国・紀伊半島をはじめ西日本各地に大きな爪痕を残しています。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

出演団体は8月24日開催時に中学校部門13団体、高等学校部門16団体、シード1団体、9月4日開催時に一般部門12団体、シード5団体の合計47団体に出演していただきましたが、対前年比2団体減で、残念ながら今年も大学からのエントリーはありませんでした。

また今回初の試みとして、前述の通り開催日を連続させずに分離開催としました。これは中学校高等学校の2期制に移行している事に鑑みての試みですが、出演団体数は昨年とほぼ変わりませんでした。来年も分離開催ですので、引き続き出演団体の状況や運営面での負担を確認し、皆さんの意見を伺いながら、より良いコンクールを目指していきます。なお、拙筆ながら私が連載している団長コラムにも今回のコンクールの話を記述していますので、ご興味のある方はご一読いただければと思います。

県代表として関東大会に出場される方々のご健闘を祈ります。因みに大学・職場・一般の部の関東大会は神奈川県が主管で横須賀芸術劇場にて開催されます。審査結果は以下の通りです。

第1日目（8月24日）結果

部門	団体名	賞	関東大会 推薦団体
中学 混声	横浜市立緑が丘中学校合唱部	金賞	◎
	海老名市立海西中学校	銀賞	
	川崎市立白鳥中学校白鳥合唱団	銀賞	
	茅ヶ崎市立松林中学校合唱部	銀賞	
中学 同声	厚木市立南毛利中学校・ 厚木市立藤塚中学校合唱部	金賞	◎
	海老名市立大谷中学校合唱部	金賞	◎
	清泉女学院中学音楽部	金賞	◎
	藤沢市立滝の沢中学校合唱部	銀賞	
	桐蔭学園中学女子コーラス部	銀賞	
	川崎市立菅中学校音楽部	銅賞	
	横浜市立豊田中学校合唱部	銅賞	
	横浜市立早渕中学校合唱部	銅賞	
	伊勢原市立成瀬中学校コーラス部	銅賞	
高校 A	桐蔭学園女子コーラス部	金賞	◎
	県立弥栄高校合唱団	金賞	◎
	神奈川学園中学・高等学校女声合唱団	銀賞	
	慶應義塾湘南藤沢中・高等部合唱部	銀賞	
	県立生田高等学校グリークラブ	銀賞	
	横浜英和女学院中学高等学校コーラス部	銀賞	
	県立伊志田高校合唱部	銅賞	
	県立大船高校合唱部	銅賞	
	相洋高校コーラス部	銅賞	
	県立秦野総合高等学校合唱部	銅賞	
	県立平塚湘風高等学校合唱部	奨励賞	
	桐蔭学園中学校・高等学校グリークラブ	奨励賞	
	県立厚木商業高等学校音楽部	奨励賞	
高校 B	日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ	金賞	◎
	北鎌倉女子学園コーラス部	金賞	◎
	県立多摩高等学校合唱部	金賞	◎
シード	清泉女学院高校音楽部		

第2日目（9月4日）結果

部門	団体名	賞	関東大会 推薦団体
一般 A	かながわフリーダム・シンガーズ	金賞	◎
	Collegium Cantorum YOKOHAMA	金賞	◎
	La Pura Fuente	金賞	◎★
	TAMA STAR SINGERS	銀賞	
	合唱団たまとも	銀賞	
	ユース松林	銀賞	
	Trinity	銅賞	
	合唱団 VOCK	銅賞	
	アンサンブル Mora	銅賞	
一般 B	緑フラウエンコール	金賞	◎
	コール・キリエ	金賞	
	横浜ルミナス・コール	銀賞	
シード	小田原少年少女合唱隊		◎
	湘南はまゆう		◎
	富士通川崎合唱団		◎
	マルベリー・クワイア		◎
	マルベリー・チェンバークワイア		◎

★印の La Pura Fuente は全日本合唱連盟理事長賞・神奈川県知事賞（8月24日、9月4日の2日間を通して最優秀演奏団体に授与）を受賞しました



熱心に審査する審査員の先生方と実行委員の皆さん

★松村副理事長★
～連載第1回～



副理事長のつぶやき【第4回】 辛そうだった山登り



松村 努

カノンが送る
好評連載シリーズ！
今回から松村副理事長
にバトンタッチして
皆さんにお届けします

「山登りはいやです…」これが合唱の世界に入るきっかけだ。

小学校の低学年で子供を団体訓練の場に入れるというのが、親の方針だった。姉はガールスカウト、兄はボーイスカウトに所属し、完全アウトドア志向の兄姉の下に少々軟弱な末っ子だった私は、1つの選択を迫られていた。つまり、ボーイスカウトに入り兄を追いかけるか、同じ教会にあった少年合唱団に入るのか、である。

小学一年生の夏、信州の山奥に、兄の所属する団のキャンプを見学に出掛けたときに見た恐るべき光景が、その後の私の人生を決めたと言っても過言ではない。兄は小柄だったのだが、身の丈を遙かに上回る大きな荷物を背負い、汗だくになりながら無言で山頂を目指すその姿は、今もはっきりと脳裏に焼き付いている。『これは出来ない！』心の中でそう叫んだ私は、当時、楽だと思ったもう一つの道、合唱団に入ることを決めた。二者択一なら…

かくして、合唱団の入団試験当日。教会の一室で好きな歌を一曲歌う、そんな簡単な試験だった。これ以上ないほど緊張し、♪海は広いな大きいな…♪と歌い、結果は見事合格！もちろん不合格者もゼロであった。

楽だと思って入団した合唱団。それがとんでもない間違いだったと、ほどなくして気が付くのである。なんと当時の団長先生はあろうことか、ボーイスカウト上がりのバリバリの大学生だった。合唱をすること以外ほとんどボーイスカウト状態で、日曜日ごとの練習は、全団員総勢100名近くがグラウンドに整列して朝礼、制服の着こなしチェック、ハンカチ、鼻紙を両手に出して確認、そこから始まるのである。おまけに敬礼の訓練だ。流石にそれは守ったことはないが、当時、団員は町で出合ったら、敬礼をしなければならないという決まりまであった。

こうして礼儀、規律を通して子供を育てようと言うことに主眼を置いていた少年合唱団であったが、当時の日本は空前の児童合唱ブーム、NHKでは、歌のメリーゴーランドなる児童合唱参加型の30分番組がお茶の間で人気だった。私たちも準レギュラーとして、月に数回NHKに出掛けては録音、映像収録を繰り返すようになり、知らないうちに学校では有名人になっていた。学校放送で放映日をアナウンスされたときには、ちょっとした芸能人気分に浸ったものだった…

時が経ち、やがてこうした活動から離脱して、合唱団は教会の中での演奏に重心を置くことになる。多感な小中高の時期に教会音楽に触れ、「歌うことは祈ること」という大切な教えをいただき、そのことが今も私の支えであり、音楽を創り出す源流になっている。



コンクールで合唱団を指揮する
松村副理事長

『かながわの合唱団を訪ねて』

第11回：【一般】川崎混声合唱団

残暑が続く9月のある日。私は武蔵小杉駅近くにある中原市民館に来ました。平成21年に中原市民館が新しくなってから初めて足を踏み入れました。

市民館とは言っても一つの独立した建物ではなく、パークシティ武蔵小杉という駅前にあるマンション群の一角に組み込まれるような形で立地しています。土地価格の高騰する都市部での新しい街づくりの一環で再開発された地区です。新規開館3年目でまだ新しく、駅前というわかりやすい立地でもあり、規模は小さめながらも街のコミュニティスペースとして使いやすい環境にあります。転居以前は古めかしいビルに入居し、音漏れがひどく、近隣の会議室から「うるさい！」と苦情を受けながら練習していた中原市民館時代からすると、隔世の感があります。

さて、今日取材するのは川崎混声合唱団（以下川混と略）。地域に根付いた活動を続けている、川崎でも老舗の合唱団の一つです。

練習をしていた視聴覚室に入ると、男女合わせて50名ほどの人数が集まっていました。男女比率は4:6くらいでしょうか。女声ばかりが目立つ近年の混声合唱団からすると、男声の充実した歌声が聴こえてきます。



練習の様子

それにしても練習に対する熱い思いに圧倒されます。何度も何度も反復練習。熱心に楽譜を見つめるその姿は、歌を歌うことの喜びに満ち溢れていました。

その時練習していた曲が『見上げてごらん夜の星を』。坂本九の歌い上げた昭和の名曲ですが、この曲がミュージカルの中の劇中主題歌として作られたということは意外に知られていません。1960年（昭和35年）に大阪で公演されたミュージカルのために永六輔作詞、いずみたく作曲で作られたこの曲と同じ年、川崎混声合唱団は産声を上げました。

そもそものきっかけは県立川崎高校合唱部のOBが集まったことにあります。つながりのあった相原末治先生を指揮者に仰ぎ、県立川崎高校合唱部のOB合唱団として産声を上げました。その後すぐに市民合唱団となり、現在に至っています。近年では年1回の定期演奏会を中心に、川崎市の合唱活動（ミューザ川崎市民合唱祭やコーラルフェスト川崎）への参加をはじめ、神奈川県合唱祭やクリスマスコンサートに出演するなど、地元に着した演奏活動を繰り返しています。

川混の活動として特筆すべきことは、1967年（昭和42年）の第4回定期演奏会から、相原先生の発案により団員の作曲を毎年発表していることでしょう。本年（2011年）1月30日に開催された第45回定期演奏会で発表されたものを含め、今までに116曲も作詞／作曲しています。このように活発な活動を続けている川混について、団長の小嶋幸保さんは「この合唱団は30代後半から70代後半まで幅広い年齢層の団員が集まっており、仕事も多彩。住んでいる地区も川崎を中心に横浜や東京など広い地区から集まっています。この合唱団の長年の歴史がそれだけの広がり、つながりになったのでしょうか。」と語っていただきました。



指揮者の小笠原先生

創立者の相原先生は現在、最高顧問として川混を見守っておられます。その川混を直接指導されているのは、常任指揮者の小笠原吉秀先生。2000

年からすでに12年間にわたり指導を続けられています。小笠原先生にもこの合唱団の印象を伺いました。

「この合唱団はまず雰囲気がいいです。相原先生は非常に人格者で、お優しく、その雰囲気がそのまま出た合唱団のイメージです。温かくて声がいいというのが第一印象でした。幅広い年齢層の方が集まっていますので、音楽の深みもよく出ています。とても楽しい合唱団ですね。」とこの合唱団とともに歩む喜びをコメントしていただきました。

これからも地元川崎と神奈川県に着した、楽しく美しい合唱を中心に、音楽の『輪』と合唱団の歴史を積み重ねてください。

（記事：カノン担当 栗林）

～合唱団概要～

- 名称：川崎混声合唱団
- 団長：小嶋 幸保
- 最高顧問：相原 末治
- 常任指揮者：小笠原 吉秀
- ★団員募集中です。一緒に歌いませんか？★
- 連絡先：鈴木 Tel:044-422-2307

★連載★



コール・キリエ団長日記 ～親分はつらいよ～

【第4回】本職のお話



鈴木 行

カノンが送る
新連載第二弾！
コンクールの親分が
本音トークで迫ります

本誌開催報告と話題が重なりますが、去る平成23年8月24日（水）と同9月4日（日）の両日に、第54回神奈川県合唱コンクールが開催されました。両日共に天候が非常に心配され、特に9月4日に関しては台風12号も接近していましたのでヒヤヒヤしておりましたが、無事に開催出来てホッと胸をなでおろしている所です。今回は、「コンクールの親分」と謳われた所以である本コンクールについて述べたいと思います。

今年は中学高校の2期制移行に鑑み、2日間連続開催ではなく分離開催を試行してみました。その結果は、中高の部の出演団体数は横ばいでした。尚、来年も分離開催を予定していますので、来年の出演団体の動向にも注視しながら今後の対応を検討していく所存です。

演奏の方に目を移しますと、今年も例年と負けず劣らずの熱演が繰り広げられ、審査員の先生方も審査には相当苦慮されたようでした。そんな中、2日間を通じてのグランプリは一般団体の「La Pura Fuente」が受賞されました。一般団体のグランプリの受賞はかなり久しぶりの事。加えて、一般部門で「賞無し」団体が無かったと言う事も特筆すべき事柄です。私も一般団体に身を置く者として、もっと頑張らねば…という思いに駆られました。



コンクールでの最後の挨拶

一方、熱演の裏ではトラブルも。毎年大なり小なりあることなのですが、出演要項や打合せ会の資料、打合せ会時に口頭にて注意喚起している事であるにも関わらず、守られなかったという事です。具体的には、審査員用提出楽譜を用意していない団体があったり、JASRACの承諾なしにコピー譜を提出する団体があったり、バスで来場する際のルール違反等がありました。大半の団体が約束やマナーを守ってコンクールに臨んで下さっています。ごく一部の団体だけを特別扱いには出来ません。打ち合わせ会に来られた代表の方は、是非団員の皆さんへの諸注意の周知徹底を改めてお願い致します。打ち合わせ会でも申し上げていますが、ここでも…「コンサートマナーを守り、気持ちの良いコンクール開催」に御協力下さい。



トロフィーと盾

一方、熱演の裏ではトラブルも。毎年大なり小なりあることなのですが、出演要項や打合せ会の資料、打合せ会時に口頭にて注意喚起している事であるにも関わらず、守られなかったという事です。具体的には、審査員用提出楽譜を用意していない団体があったり、JASRACの承諾なしにコピー譜を提出する団体があったり、バスで来場する際のルール違反等がありました。大半の団体が約束やマナーを守ってコンクールに臨んで下さっています。ごく一部の団体だけを特別



コンクールで演奏を披露するコールキリエの皆さん

カノンコンサートガイド

(お知らせ)

主催者の都合により、コンサート日程、内容等が演奏になる場合がありますので、詳細につきましては各コンサートのお問合せ先にご確認ください。

11/4 (金)	アンサンブル・ピノ 第7回演奏会 19:00 ～ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料：2,000 円 (全席自由) お問合せ：土肥明子 0467-47-5150(Tel & Fax) http://ensemblepino.web.tc2.com パレストリーナ、ジョスカン、バルトーク、テルファー他。アカペラで演奏。指揮：松村努
11/6 (日)	混声♪青葉 第2回混声♪青葉定期コンサートー愛あふれるみのりの日々ー 15:00 ～ 青葉公会堂 入場料：1,000 円 (全席自由) お問合せ：オフィス・バルーン 045-901-9914 そーらん節、赤いサラファン、メモリー他、指揮：酒井沃子、ピアノ：吉田幸央、フルート：小泉浩、演出：大島尚志
11/10 (木)	女声合唱団 レースライン 演奏会 14:30 ～ 慶応義塾協生館 藤原洋記念ホール 入場料：2,000 円 (全席自由) お問合せ：友杉延子 045-363-8019 指揮：小泉ひろし ピアノ：山部陽子 スタバトマーテル、日本歌曲 他を演奏します。
11/13 (日)	横浜女声アンサンブル 「ちょっとおしゃれなコンサート II」 14:00 ～ 慶応義塾協生館 藤原洋記念ホール 入場無料 お問合せ：高橋 045-913-4907 ブラームス「ジブシーの歌」、シューベルト「セレナーデ」、モーツァルト「ミサ」他 指揮：阿部純 ピアノ：佐藤征子
	本牧 Ladies' Ensemble 本牧 Ladies' Ensemble 6th Concert ～響け！ とどけ！ 歌！！～ 14:00 ～ 横浜市神奈川区民文化センター かなっくホール 入場無料 (要チケット) お問合せ：坂口 0467-25-2230 石井 045-832-0148 http://music.geocities.jp/honmoku_ladies_ensemble/ 「あいたくて」松下耕、「Messe Brève」Ropartz、「Tokyo 物語」猪間道明、他。ぜひ！おいでください。
11/18 (金)	フラウエンコア・ヴォンネ フラウエンコア・ヴォンネ 2nd コンサート《愛・ゆめ・いのち～たいせつなものへの祈り》 18:00 ～ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料：1,500 円 (全席自由) お問合せ：田村 0467-22-4855 http://homepage2.nifty.com/ongakutanosi/wonne.html 「Ave maris stella ～花も花なれ、人も人なれ」「A Little Jazz Mass」他。指揮：吉田公子 ピアノ：金井信

11/19 (土)	藤沢女声合唱団 藤沢女声合唱団 35 周年記念演奏会 14:00 ～ 藤沢市民会館大ホール 入場料：1,000 円 お問合せ：石澤 0466-44-5524 記念の演奏会なので傘下で活動している湘南男声合唱団に賛助出演して頂き、混声「唱歌の四季」他を演奏します。
11/20 (日)	横浜混声合唱団 「三三七拍子合唱コンサート①」 14:00 ～ 関内ホール 入場料：2,000 円 お問合せ：こんの 045-752-5915 koncyan2411@jcom.home.ne.jp コンサート名を一新、第一回は「やなせたかし+吉田孝古麿」二人の作品展 ピアノ：須江太郎・岩谷尚之 Chorus crew Chorus crew 3rd Concert 14:00 ～ 茅ヶ崎市民文化会館大ホール 入場料：1,000 円 お問合せ：加藤 090-1114-4784 chorus-crew@jcom.home.ne.jp http://members3.jcom.home.ne.jp/chorus-crew 会津磐梯山、グリッドのうた、あいたくて、旅、この歌知ってますか？斉藤悦子指揮。多彩なステージをお楽しみ下さい！
11/26 (土)	上大岡混声合唱団 第 45 回定期演奏会 17:00 ～ 鎌倉芸術館大ホール 入場料：1,000 円 お問合せ：事務局 045-780-3736 http://www.geocities.jp/kami_kon/ アメリカの新進作曲家ドプロゴスのミサを中心に、木下牧子・小林秀雄の合唱曲を演奏いたします。
11/27 (日)	厚木混声合唱団 厚木混声合唱団 第 21 回定期演奏会 15:00 ～ 厚木市文化会館大ホール 入場料：1,000 円（高校生以下 500 円） お問合せ：飯塚 046-291-1787(Tel&Fax) masa-iizuka@angel.ocn.ne.jp http://www.ayu.ne.jp/user/atsukon/ ミサ・プレヴィス（モーツァルト）、ボニージャックス愛唱歌篇、「信じる」（松下耕）、オペラ名アリア集を歌います。
11/29 (火)	アンサンブル フリージア 第 2 回コンサート 14:00 ～ 横浜市神奈川区民文化センター かなっくホール 入場料：1,000 円 お問合せ：中村 046-256-2204 池本 045-591-1519 中田喜直曲「雪の日に来る人」「忘れなぐさ」他、日本の抒情歌「花の街」「ふるさと」…、フォールとフルコト新旧ミサ曲
12/2 (金)	逗子女声合唱団 逗子女声合唱団クリスマスコンサート 18:30 ～ 逗子文化プラザなぎさホール 入場料：1,000 円 お問合せ：北村薫 046-873-4123 マザー・テレサ愛のことば他 指揮：川上久美子、ピアノ：島田順子
12/11 (日)	女声合唱団コール・ブルメリア 女声合唱団コール・ブルメリア&コーロ・オルテンシア ジョイントコンサート 14:00 ～ 杜のホールはしもと 入場無料（全席自由 要整理券） お問合せ：笠佳代子 042-755-3012 http://chorplumeria.web.fc2.com/ 高田三郎「遥かな歩み」「水のいのち」、女声合唱曲集（平井廉三郎）より他 指揮：小林祥子

12/14 (水)	横浜YMCA混声合唱団 第50回記念定期演奏会 19:00～ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料:1,000円 高校生以下:500円(全自由席) お問合せ:鈴木新一 045-252-7703(Tel&Fax) http://ycon.web.fc2.com/ 50回記念演奏会です。パレストリーナ「O MAGNUM MYSTERIUM」、萩原英彦「光る砂漠」、他。
12/24 (土)	ほどがや少年少女合唱団 ほどがや少年少女合唱団コンサート「瑠璃色の地球」 14:30～ 県立音楽堂 入場料:1,000円 お問合せ:福田 045-332-4117 鈴木 045-711-6335 三善晃編曲「唱歌の四季」、ミューザ「瑠璃色の地球」他、指揮 福田美知子 ピアノ 橋本麻子 脚本/演出 鈴木ひろみ
1/8 (日)	アンサンブル KATOO アンサンブル KATOO 第7回定期演奏会 14:00～ サルビアホール 入場料:入場無料 お問合せ: http://sound.jp/ekt/ 横浜で活動するアンサンブルKATOO[EKT]です。今年度は「愛」をテーマに様々な愛をEKTなりに表現します。どうぞ期待！
1/15 (日)	Trinity Trinity 11th Concert 19:00～ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料:1,500円 お問合せ:遠藤 090-2722-3538 trinity1999_12@hotmail.com http://music.geocities.jp/w_w_trinity1999/ 結成以来、初の委嘱作品「種子はさへづる」(信長貴富 曲・山村暮鳥 詩)を初演予定。
1/29 (日)	川崎混声合唱団 第46回定期演奏会 14:00～ 麻生文化センター大ホール 入場料:1,000円(全席自由) お問合せ:鈴木 044-422-2307(Tel&Fax) メインステージに「心の抄」(大中恩作曲)を、毎回発表し続けている団員創作曲も3曲歌います。

Dvořák : STABAT MATER

ドヴォルザーク:スタバト・マーテル(ペータース版)

横浜シティ合唱団 第12回定期演奏会

2011年11月4日(金) 19:00開演 横浜みなとみらいホール大ホール

全席指定 S 4,000円 A 3,000円 B 2,000円

指揮・合唱指導 青木 洋也

管弦楽 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

ソプラノ:朴 瑛実 アルト:布施 奈緒子 テノール:藤井 雄介 バス:藪内 俊弥

お問合せ:横浜シティ合唱団事務局 武井(090-7410-3254)

横浜交響楽団第634回定期演奏会

— 青少年のための音楽会 —

ハイドン オラトリオ 四季

指揮 甲賀一宏

ソプラノ 朴 暎美 テノール 市川 浩平 バス 加来 徹

合唱 横浜交響楽団合唱団(横響合唱団)

管弦楽 横浜交響楽団

平成23年10月26日(水) 午後7時開演

神奈川県立音楽堂

入場料 1,000 円(全席自由)

チケット前売所 横浜読売プレイガイド・横浜高島屋チケットショップ
e+(イープラス) <http://eplus.jp/>

次回 演奏会 第635回定期演奏会 — 青少年のための音楽会 —

ベートーヴェン 交響曲 第9番(合唱つき)

ワーグナー 歌劇「タンホイザー」序曲

指揮 甲賀一宏

S 岩下 晶子 A 谷地 畝 晶子 T 市川 浩平 B 押見 春喜

合唱 横響と第九を歌う会・横響合唱団 管弦楽 横浜交響楽団

平成23年12月11日(日) 午後2時開演

神奈川県民ホール(大) 入場料 1,500円

第14回 かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト

参加団体募集

と き：2012年3月11日(日) 10:30 開演予定

と こ：神奈川県立音楽堂

主催：神奈川県合唱連盟

編 成：2名以上20名以下の小編成ヴォーカルアンサンブル(ソリストを含む)

部 門：コンテスト部門(混声、女声、ジュニア、男声、シニア)

フェスティバル部門(年齢・声種は問いません)

演 奏：2声部以上で演奏されるア・カペラの声楽曲

演奏時間：部門別審査 7分以内 総合審査 5分以内(部門別と異なる曲目)

団 体 数：合計40団体程度(申し込み先着順)

審査員：伊集院俊光 江上孝則 片野秀俊 (五十音順・敬称略)

審査基準：コンテスト部門 絶対評価点数法

フェスティバル部門 来場者による投票

申 込 み：2011年12月初旬から2012年1月初旬

参 加 費：(1)団体参加費：神奈川県合唱連盟加盟団体 1団体 6,000円

神奈川県合唱連盟非加盟団体 1団体 12,000円

(2)個人参加費：1,500円(18歳以下 900円)×人数

入 場 料：1,000円(18歳以下無料)

※ 詳細は10月に発行予定の参加要項をご覧ください。上記の内容は変更になる場合もあります。

※ 神奈川県合唱連盟非加盟団体の方でご希望がありましたら参加要項をお送りします。お気軽に下記までお問い合わせください。

《問い合わせ先》

神奈川県合唱連盟事務所 TEL：045-681-6033 FAX：045-662-5119

e-mail：kanagawakenren@nifty.com

事務所スタッフ常駐時間 月曜日～金曜日 12:00～16:00

—— 県連からのお知らせ ——

<東日本大震災に伴う義援金募集について>

総会でも通知いたしました通り、先般発生いたしました東日本大震災に対し、神奈川県合唱連盟として被災地及び被災された方々への支援の一環として、4月以降の県連各行事における募金箱の設置による募金の呼びかけを行いました。同時に、神奈川県合唱連盟が窓口となり、各団体・個人からの義援金の受付も実施いたしました。その結果以下の団体、個人の皆様より暖かいご支援を頂きました。この場を借りて御礼を申し上げます。いただきました義援金につきましては、少しでも早く現地で活用していただこうと、現在までに5/24、6/29、8/31の3回寄付を朝日新聞厚生文化事業団に行いました(1,276,116円)。また当活動につきましては、今後とも継続して募集しておりますので、合唱連盟経由での寄付をご希望される団体、個人の方は引き続き以下の口座までお届けいただきますよう、よろしくお願いいたします。

【郵便振込】口座記号：00200-8-100874 加入者名：神奈川県合唱連盟

※領収書の発行はできません。また義援金への募金は税法上の寄付控除の対象とはなりませんのでご注意ください。

～義援金をお寄せいただいた団体・個人の皆様～(9/18現在(夏号でのご報告以降):全5団体:振り込み順)

女声合唱団「けやきの会」、聖光学院中ドルチェコーラス、横浜ローゼンコール、金沢青少年少女合唱団、高津市民歌合唱団

☆コンサートガイド掲載要綱☆

神奈川県合唱連盟に所属していれば、この「カノン」にコンサートのお知らせを掲載することができます。掲載方法は「無料掲載」と「有料掲載」があります。それぞれ、必要事項を記したものを郵送かFAXまたはe-mailにて編集室までお申し込みください。ただし、無料掲載は1演奏会につき一度だけとさせていただきます。なお、有料掲載と無料掲載の両方を希望する場合は、それぞれ個別にお申し込みください。

また有料掲載につきましては、神奈川県合唱連盟に所属していない団体からも掲載を受け付けることが可能です。その場合の料金に関しては、下記掲載料の倍額とさせていただきます。

1 無料掲載：①合唱団名 ②演奏会名称 ③開催日時 ④会場 ⑤入場料等 ⑥問い合わせ連絡先(Tel/Fax/e-mail/HPの記載可) ⑦コメント(50字以内)を掲載いたします。

2 有料掲載：1/8号 2,500円(1/4号 5,000円、1/2号 10,000円、1号 20,000円)での有料掲載を行います。内容は基本的に自由ですが、事務局がカノンに掲載することがふさわしくないと判断したものについてはお断りすることがあります。希望するサイズでの出力見本(手書きも可)をメール、FAX等で送っていただき、各合唱団が作成した原稿をそのまま掲載するか、原稿案を元に事務局で作成いたします。

※カノン発行月と原稿締め切りの予定：春号 4月10日発行予定(※切：2月10日) 夏号 7月10日発行予定(※切：5月10日)
秋号 10月10日発行予定(※切：8月10日) 冬号 1月10日発行予定(※切：11月10日)

<取材希望団体募集> 「かながわの合唱団を訪ねて」のコーナーでは、取材を希望する合唱団を募集しています。希望団体は県連事務局にご連絡下さい。スタッフが取材いたします。

<編集後記> 今回も色々な記事を掲載しましたが、次号(冬号)もコンクール関東大会・全国大会の特集などで充実させたいと思います。またご多忙中、記事を依頼している皆さんにも感謝です。いつも原稿の催促ばかりですみません(汗)。これからも合唱の楽しさ・素晴らしさを伝える原稿を期待しています。(編集長：K)

神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon(カノン)」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会

発行責任者 田中登志生 編集責任者 栗林宏至

神奈川県合唱連盟・事務局

〒231-0021

横浜市中区日本大通15 横浜朝日会館4階

TEL: 045-681-6033 FAX: 045-662-5119

スタッフ常駐・毎週月～金(休祝日を除く) 12:00～16:00

URL <http://kanagawakenren.la.coocan.jp/>

e-mail アドレス kanagawakenren@nifty.com

